

阿蘇山の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

＜噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げ＞

阿蘇山では、20 日頃から火山性微動の振幅が大きくなるなど、火山活動は高まっています。このため、中岳第一火口では噴火が発生する可能性があるかと判断し、本日（27 日）10 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

【防災上の警戒事項等】

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

○ 活動概況（図 1、図 2）

阿蘇山では、20 日頃から火山性微動の振幅が次第に大きくなり、本日（27 日）も大きい状態で継続しています。

24 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり 1,100 トンと前回（12 月 12 日、700 トン）よりも増加しています。

また、25 日に実施した現地調査では中岳第一火口の湯だまり¹⁾の量は 1 割以下で、火口底の中央付近で 10m 程度の土砂噴出を確認しました。

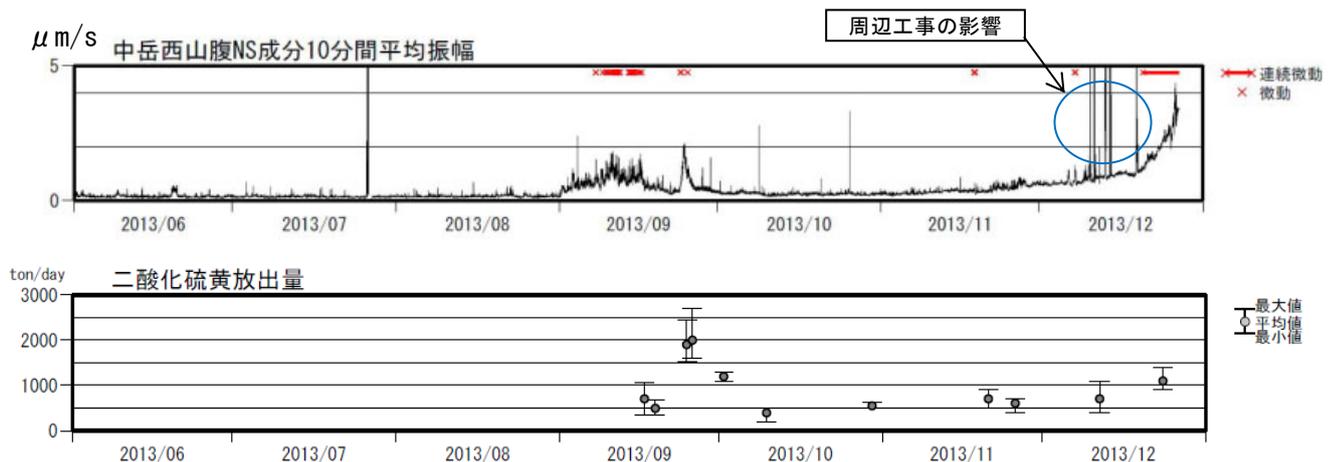


図 1 阿蘇山 平均振幅及び二酸化硫黄放出量経過図(2013 年 6 月 1 日～12 月 26 日)

1) 活動静穏期中岳第一火口には、地下水などを起源とする約 50～60℃の緑色の湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいます。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少や濁りがみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られています。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。



図2 阿蘇山 中岳第一火口内の状況（2013年12月25日撮影）

- ・湯だまりの量は1割以下でした。
- ・火口底の中央付近（図中の赤丸部分）では高さ10m程度の土砂噴出を確認しました。